

SSTK

第 68 号

社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも

〒279-0022 千葉県浦安市今川 1-14-52

TEL:047-304-8808 FAX:047-304-8821

パーソナル・アシスタンス とも 通信

いっしょに生きる 楽しく生きる

今号の特集

移動支援	2p
第19回アウトサイダーアート展	3p
連載「食べる」を育てる	7p
昭和大学名誉教授 向井美恵先生	

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年を迎える節目で振り返ると、去年は時代の変化を特に強く感じる一年でした。新型コロナと暮らすことを強いられた3年の月日が、私たちにもたらした影響は想像以上に大きいのかもしれません。

私たちの法人は市民活動から始まり、NPO法人を経て社会福祉法人となりました。

私たちは制度も無く、障害福祉サービスもほとんど無い時代に「ニーズに即して支援を提供すること」を掲げてサービスをスタートさせました。ほどなくして始まった支援費制度、障害者自立支援法、障害者総合支援法など、法律が整備されると、それらに基づきながら事業を行うことで、安定して支援を提供できる法人であるよう、日々奮闘しながら現在に至ります。

事業を始めた当時は、私たちの趣旨に賛同して「支援が必要な人たちがいるのであれば、私たちが手を貸そう！」という思いから参加してくれる人がほとんどで、支援を受ける方も、その家族や関係者の方たちも、自分たちのできることを持ち寄って「こんな地域だったらいいな」、「こんな支援があるといい」という感覚でした。

「支援が必要な人たちを地域の中で支えたい！」と、24時間365日の支援に賛同し、それを担うことに、やりがいや誇りを持っている方々がいてくれたおかげで、ともの理念と基本方針は継続できて来たと思っています。

そんな熱い想いに支えられていた創設期から、約20年経った現在はというと…。

障害福祉サービスの事業所が増え、給与などの処遇がよくないなどの問題はあるものの、この仕事に従事する方も当然ながら増えました。一方で、「社会貢献はしたいけれど夜勤はNGで」、「平日勤務のみで9時～18時希望」など、思いはありながらも働く条件がまず先、という方が増えたという印象があります。また、障害福祉サービスに従事した経験があり途中で入ってこられる方の中にも、障害福祉の背景や歴史も知らずに仕事をしていて、という方もいて内心驚くことがあります。

時代の変化を受け入れながらも、誰もが暮らしやすい社会を実現するためには、先人達の努力や、当事者が置かれていた境遇を少しでも良くしようと変わってきた福祉の変遷を知ること大切なことではないかと思えます。

厚生労働省の社会福祉審議会障害者部会でも複数の委員たちから、地域生活を送るのに欠かすことができないヘルパーの不足が、深刻であると議題に上がっています。今いる支援者たちが、昨今の人手不足で疲弊してしまい、このまま離脱するようなことが続けば、更に人材不足は加速し、障がいのある人たちの生活が立ち行かなくなります。そうならないためにも、福祉を生業にしている私たちが手を取り合い、互いに技術や志を高める努力を怠らず、支援を必要としている人にプロとして寄り添える環境を構築していくことが大事だと考えます。

新年を迎え職員一同、気持ちも新たに一層良い支援と仲間づくりを目指します。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



ともに地域で暮らすために

移動支援

地域社会の中で暮らしていくために必要な「とも」の支援サービスを、ひとつの事例と相談員、ケアスタッフ、保護者の視点を通してご紹介します。



事例 行動範囲を広げる

登場人物の紹介 Aさん

知的障害を伴う自閉症スペクトラムがあり、発語がなく、意思表示はジェスチャーなどで行います。慣れない場所や人に対して大きな不安や緊張を感じますが、そのことを言葉にできないため、痙攣を起こしたり、動けなくなったりします。

家族の思いと利用の経緯

Aさんのご家族には「Aさんを楽しい所に連れて行ってあげたい」という思いがありました。ある休日「Aさんが大好きなテーマパークへ行こう」と家族が誘いました。Aさんは嬉しそうに頷きましたが、いざ出掛けようとするやと突然玄関で叫びだし、外へ出ようとしません。「テーマパークだよ」「楽しいよ」と声掛けすることで何とか外へ出ることはできましたが、途中で座り込んで動くことが出来なくなってしまい、その日は家へ戻ることになりました。そんなことが度々起こるようになり、家族はAさんと外出することに難しさを感じるようになってきました。そこで、専門性を持つケアスタッフの力を借りることでAさんが楽しく外出できるようになることを願い、移動支援を利用することにしました。

支援で行なっていること

まずはAさんがケアスタッフに慣れた頃を見計らって、普段の行動範囲の中で一緒に出掛けることから始めました。Aさんが普段からよく行っている公園などへ付き添います。Aさんがケアスタッフといることに慣れてきたら、徐々にAさんの希望に合わせて「初めての事」を提案していきます。例えば「コンビニエンスストアへジュースを買いに行く」「少し遠くの公園へバスに乗って行ってみる」などです。Aさんはスモールステップを行きつ戻りつしながら、行動範囲を広げています。

移動支援の
お問い合わせは

パーソナルケアセンター
浦安市今川 1-14-52
TEL 047-304-8811

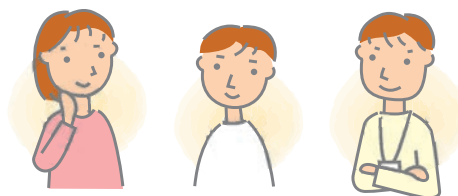


コンビニの店員さんに毎回挨拶していたら、そのうち店員さんの方から「こんにちは」と声をかけてくれるようになり、Aさんも嬉しそうな顔を見せるようになりました。スモールステップを繰り返すことで、徐々にバスや電車に乗ったり、出先で飲食をすることもできるようになりました。その日のAさんの状態によって、以前できたことが今日はできなかつたりしますが、少しずつ経験を積むことで、不安より楽しみが増えてきたのではないかと思います。

ケアスタッフ
の声

保護者
の声

最初は外出と言っても家の近くの歩ける範囲に限られていて、移動支援で行く意味があるのかと疑問を感じたこともありました。が、何か月か過ぎた頃には少しずつ行ける範囲が広がっていきました。今では交通機関を使うこともできるようになったので、続けてきて良かったと感じています。今後は合同外出（ともの複数の事業所が合同で行う外出プログラム）などで、お友達と一緒に出かけられる様になると嬉しいです。



移動支援は、孤立しがちな利用者さんと地域の人達との間を取り持つ役割もあります。地域の人たちに利用者さんを理解してもらうことで温かい交流が生まれ、利用者さん自身も、地域の人たちの中で安心してのびのびと生活できるようになるのです。

相談員から
ひとこと

※掲載された事例は実例を基に作成されていますが、個人を特定できないように編集を行っています。



アウトサイダーアート展

第19回目となるアート展を開催しました。



9月22日(金)~28日(木)の1週間、第19回目となるアウトサイダーアート展を、今回もアトレ新浦安店1階ガーデンテラスにて開催しました。

ともの各事業所を利用している6~61歳と幅広い年代の皆さんが、思い思いに制作した絵画や手工芸品の52点が会場をカラフルに彩りました。「いろいろなか 私らしく いっぱい輝く」という今回のキャッチコピーを体現したような展示に、訪れた人々からは「なんだか明るくて、元気になるね」というような感想も多くいただきました。今号では展示された全作品を掲載しています。既にご覧いただいた方も、会場へ足を運べなかった方も、この機会にぜひご覧ください！作品を応募してくれた利用者の皆さん、会期中にご観覧くださった皆さま、そしてアトレ新浦安店の皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

キッチンカフェ × 第19回 アウトサイダーアート展

12月~2月の間、今川のキッチンカフェほっぷ店内にて、アトレ新浦安店で額装展示された作品を7~8点ずつ、2週間毎に入れ替えを行いながら順次展示しています。

ほっぷ Instagram



やぎさんの除草について
佐藤康平



やぎさんの除草について
佐藤康平



夢の島のかぼちゃ
西田江里



京成バラ園
みーたん

展示作品



えりのだいすきなばら
西田江里



ペンギンといっしょに
西田江里



小さいかぼちゃでハロウィン
西田江里



おおきいくりのき
西田江里



ひる やさいと ゆうがた
前ちゃん



ひこきとしんかんせんとおにんぎょうさん
前ちゃん



鎌倉や高崎の旅
前ちゃん



花としょくじと旅
前ちゃん



動物園の門 洋ちゃん

出品者の中から
2人にクローズアップ



常に自分の感じていることや思っていることを絵で表現して、皆に共感してほしいと思って描いています。「多彩」は、つらいことがあっても最終的には明るく一日を終われるように願いながら描きました。「美しき大きな花」は、日々の充実した前向きな気持ちを表しています。

サンチャン 30代

支援者による作者紹介

合唱で鍛えたよく通る声でいつも元気に挨拶をしてくれる30歳の男性です。読書家でもあり、絵画のほかにも多彩な趣味を持っています。様々な芸術に触れることで、彼の感性が磨かれている一方、誰の影響も受けない独自の世界観があり、個性的で魅力的な作品を創り出しています。



美しき大きな花



ぼくの好きな青い火花
高尾雨龍



多彩



空 おのだしすか



海 おのだしすか



いろんなすうじ 岸元智哉



マンションビル 岸元智哉



うみ 山本亮宏



ぼくのヒーロー たかはしうた



ウサギ 金高広幸



フルーツ 金高広幸



火花 三国栄輝



火花 北井貴之



夏の野菜 宮里真海



お花みたいな火花 秋山芽生



きれいな火花 廣澤士樞



だいこんとレモン Y.K



夏祭りのちょうちん 藤堂眞子



月夜の祭 稲川泰代

どの絵も素晴らしくて心に刺さりました。アートは大好きなのですが最近みていなかったのでも楽しませて頂けました。また是非展示してほしいです!! 全ての絵が素敵です。

色がきれいで印象的!

今回は全体的に楽しい気持ちがあふれている作品が多いと感じました。外に出かける事も増えて、思い出が作品になっていて、楽しく見せていただきました。

山の上から大量の水がドドッと落ちて来るような迫力あるイメージがあり、日本の滝を特集した写真集を借りて調べました。山の緑が1回塗りだと薄いから、写真を見ながら濃い緑や焦げ茶色等を絵具が乾いては塗り重ねました。



河津七滝「大滝」

にっしー 20代

支援者による作者紹介

「シーズンオフは寂しいなー」というのが口癖の情熱的な千葉ロッテファン。美しい風景や、花を愛するロマンチストな一面もあり、絵画の題材は好きなものが詰まっています。次作は…野球場、オーロラと創作意欲は尽きないようです。



居酒屋アクタス 船木俊介



うさぎ あっしん



タコの足で作った花火
山本梨沙



うらやすのこいのたきのぼり
あっしん



いろ・色 みーつけた
ふあり合同



夏の花火
寺田鼎



押し潰された絶望と日常
nao



高田君に捧ぐ
nao



When I wake up in the morning...
nao



まさおとブランコ少女
あやせ花火



根付 稲川泰代



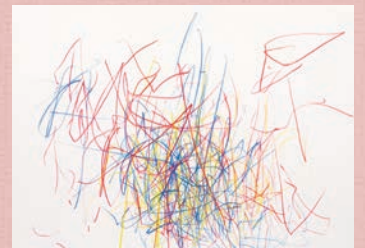
くらげとさかな
マリーナ合同



きれいな花火
柳野蓮



夏のおばけ
佐々木康



The cat in the hat
あやせ花火



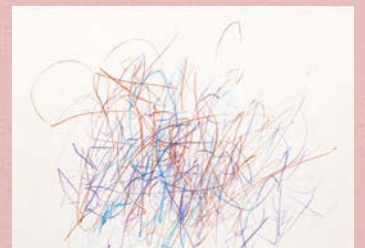
根付 稲川泰代



おてだまわんこ 稲川泰代



黄色帽子紛失事件 あやせ花火



ももたろう あやせ花火

アンケートから

どの作品も丁寧に描かれていて、構図も考えられていて、すばらしいです。色彩豊かな絵に感動しました。

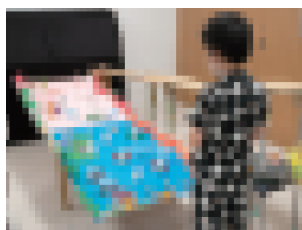
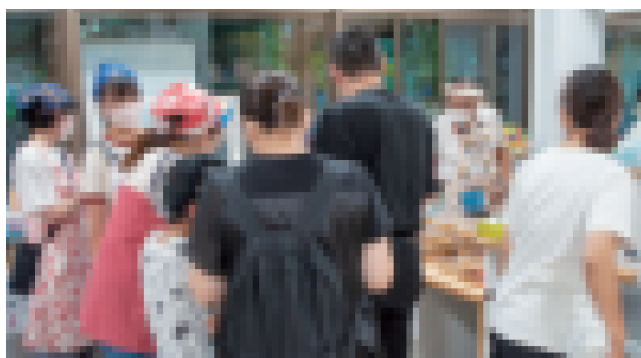
作者がどういう思いで描いたのか、どこをこだわったのか想像して見るのが楽しかったです。これからも素敵なお作品を作り続けて欲しいです。

第2回地域交流会

うみかぜまつり



9月30日土曜日、第2回地域交流会うみかぜまつりを開催いたしました。縁日をテーマに夕方17時スタート。開会と同時に、ともの利用者さんをはじめ、うみかぜが入るフォーラム海風の街にお住まいの方、近隣の保育園や子ども園に通うお子さんとご家族など、大勢の方々の訪れがありました。賑わいを見た通りがかりのご家族も何組か飛び入りで参加され、みんなで盛り上がる事が出来ました。



今回の交流会は、うみかぜの利用者さんと支援者が一緒に作り上げたお祭りです。ゲームコーナーの輪投げやパチンコ台は、

障害児通所支援事業所マリナの放課後等デイサービスの集団プログラムで、子どもたちが役割を分担しながら段ボールや色紙などを使い制作しました。

会場設営や運営の一部は日中一時支援事業所マリナテラスのプログラムとして行い、主に大人の利用者さん達が担当しました。

文化祭のように、それぞれがゲームコーナーの店番や案内といった当番に当たり、来場者とコミュニケーションを取る様子が会場のあちこちで見られました。

役割の合間に仲間やボランティアさんと楽しそうにおしゃべりをしながら、焼きそばを食べている様子がとても印象的で、気心が知れた仲間や支援者と一緒に、力を合わせてお祭りを作り上げていく楽しさを、それぞれが感じられたのではないのでしょうか。

この日は屋外にも会場があり、建物入口前ではビニールプールの中に水風船を浮かべたヨーヨー釣りや、かき氷、レトルト食品などの販売が行われました。

販売された食品は、入れ替えにより役割を終えた「災害用備蓄食品」です。持続可能な開発目標(SDGs)のターゲット12.3にそって、食品ロス削減のために賞味期限が短くなった品物をご提供いたしました。

飲料を提供しているコーナーでは、利用者さんの保護者から「子どもが初めてラムネに挑戦しました!!」と声を掛けられました。初めてのことになかなかチャレンジ出来ない子も、仲間がたくさんいる場所で安心して参加できたイベントだから、思い切って行動できたのかもしれない。

小さなことでも色々な体験を積み重ねていくことで、自分にもっと自信を持って欲しいと願っています。

また今回は、地元のラグビーチーム浦安D-Rocksからボランティアを兼ねての訪問を受けました。来場者へのスピーチだけに留まらず、ゲームコーナーを盛り上げたり、最後の片付けを手伝っていただいたりと、普段接する機会が無いアスリートの皆さんと沢山の交流をすることが出来ました。ここで、改めて浦安D-Rocksの皆さまへ感謝を申し上げます。

地域の中でともに暮らすみんなと一緒に様々な体験ができる交流会を、これからも開催していけたら嬉しく思います。



各事業所についてはホームページもご覧ください



障害児通所
支援事業所
マリナ



日中一時
支援事業所
マリナ
テラス



食べ方と美味しさ



美味しい食べ方、食べさせ方、介助の基本

食べ方と美味しさはどのように関係するのでしょうか。

味を化学的に捉える味覚と香りを感じる嗅覚、物理的な食感。この3つが美味しさの3要素です。そして、液状の食品では味と香りが、固形の食品では食感が優先しています。

味覚は味蕾で感じます。舌の上にある乳頭の間には味孔という小さな穴があり、その内側に味蕾があります。舌の表面は唾液があって常に湿っています。

咀嚼して唾液が多く分泌すると、食物から味物質が唾液に溶け出し、味孔を通じて味蕾を刺激し、味神経を通して味を感じます。味物質を唾液と混ぜる事が重要です。食物を口一杯に押し込んだり、丸飲みしてしまうと、香りも感じにくく、美味しさは半減してしまうどころか誤嚥窒息の危険を招きかねません。

食感については、口の粘膜と、歯の歯根膜で感じられます。食感を表す言葉を見てみましょう。なめらか、ふわふわ、つるつる、歯ごたえ、歯ざわり、ぱりぱり、かりかり・・・、このような食感を表現する語句について研究し整理した報告（早川ら2007年）では、日

本語には445語あると報告されています。中国語には144語、英語には77語、ドイツ語が105個、フランス語は230個あるそうです。他の言語と比べてみると、日本語には食感を表す言葉がいかに多いかが分かります。食生活の豊かさの基となる感性の細やかさは日本の誇りです。

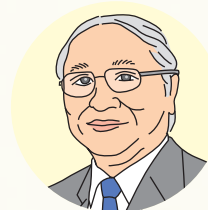
豊かな食生活の営みは、障がいの有無に関わらず、感性豊かな小児期に食べ方と食べさせ方を通して育ちます。そのためには、美味しさの3要素の感覚に視覚と聴覚を加えた五感を意識して、食べる機能の発達程度に合わせた「調理の工夫」、「介助の工夫」等の支援をしていくことが基本となります。

食べる機能は、五感から得られた感覚を統合して食べる動きへと展開していくのですが、この機能の獲得には繰り返しの学びが必要となります。

障がいがある場合には、少し時間がかかってしまったり、感覚を偏って受け取り、感覚の一部に過剰に反応してしまって上手に食べられない場合もあります。食べ方の発達過程を理解した上で、障がいの特徴に合わせた介助の対応が必要です。

向井先生は、昭和大学歯学部教授や、同大学口腔ケアセンター長を歴任された「摂食嚥下機能の発達とリハビリテーション」における第一人者です。数多くの研究成果を残され、同大学より名誉教授の称号を受けています。障がいのある子どもや大人に対する摂食指導の経験も長く、現在「とも」の嘱託医として、法人主催の研修会や個別療育プログラムなどで、お力添えをいただいています。

著書は「小児の摂食・嚥下リハビリテーション」など多数。



向井先生による 摂食 個別指導

1人ひとりに合った丁寧なアドバイスをいただくことができます。この機会にぜひご参加ください。

日程

2024年 1月15日(月)

3月11日(月)

※いずれの日も午後開催となります。

指導時間／おひとり 30～40分程度

※原則、保護者の方とご参加ください。

料金／移動支援、児童発達支援、放課後等デイサービス
上記いずれかのサービス利用料+指導料 1,000円

会場住所／浦安市日の出 1-3 浦安リハビリ 21 階 弘海風の街 3号棟 1階 103号室

場所

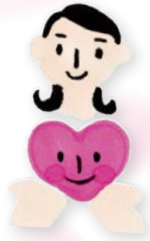
うみかぜ

お申込・お問合せは

ふあり(熊谷) 047-304-8860 マリーナ(古川) 047-304-8815
パーソナルケアセンター(大島) 047-304-8811

「とも」を支えてくださる方々

2023.09.01 ~ 2023.10.31 現在 (五十音順・敬称略)



社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも ご寄付のお願い

社会福祉法人となっても、その財源は今までと何も変わらない現実です。皆様からの寄付は現在行っている社会福祉事業に役立てさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。なお、「とも」への寄付は、以下の税制上の優遇措置があります。

- ◆個人の方は、所得税に係る「寄付金控除の対象」になっています。
- ◆法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入することができます。
- ◆相続や遺贈によって受けた財産を寄付した場合は、その分は相続税の対象外となります。

寄付金
振込先

京葉銀行 新浦安支店 普通口座 5429331
口座名義：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンス とも
理事長 西田良枝

ご利用案内

【個別のケアサービス】

- ◆パーソナルケアセンター
障害福祉サービス (居宅介護・重度訪問介護・行動援護)
介護保険サービス (訪問介護・介護予防訪問介護)
移動支援事業・浦安市通院ヘルプサービス事業
パーソナルケアサービス (制度外の支援)
介護保険外生活支援サービス



- ◆パーソナル・アシスタンスとも居宅介護支援事業所【休止中】

【緊急時の宿泊も可能な支援】

- ◆浦安市障がい者等一時ケアセンター事業 (指定管理者)



【子どもの発達支援】

- ◆障害児通所支援事業所ふあり
(児童発達支援/放課後等デイサービス)
- ◆障害児通所支援事業所 マリーナ
(児童発達支援/放課後等デイサービス)



【日中一時支援事業】

- ◆日中一時支援事業所 マリーナテラス
- ◆日中一時支援事業所 とも



【様々な療育事業】

- ◆イルカスイミングクラブ ◆音楽療法 ◆ムーブメント療育
- ◆卓球教室 ◆造形教室 ◆ダンスクラブ ◆体操



【日中活動・就労・機能訓練・余暇等の支援】

- ◆浦安市斎場内売店運営
- ◆就労継続支援 B 型事業所とも
キッチンカフェほっぶ運営
カフェテラスゆう (浦安市老人福祉センター内カフェ) 運営



- ◆ハレレア 共同生活援助 (グループホーム)



【訪問看護事業】

- ◆訪問看護ステーションとも



【生活支援のための相談】

- ◆『浦安市基幹相談支援センター』(浦安市より受託)
・指定一般相談支援事業 (千葉県指定) ・指定特定相談支援事業 (浦安市指定) ・指定障害児相談支援事業 (浦安市指定)
- ◆「相談支援事業所ふあり」指定特定相談支援事業 (浦安市指定)
・指定障害児相談支援事業 (浦安市指定)



【福祉機器等の貸与・販売】

- ◆福祉用具のレンタルや販売、日生具、補装具など【休止中】

●連絡先のご案内 事業名 電話番号 メールアドレス

●パーソナル・アシスタンス とも	047-304-8808	tomo@patomo.jp
●パーソナル・アシスタンス とも (予約専門)	047-304-8811	
●障害児通所支援事業所ふあり	047-304-8860	tomo-huali1@patomo.jp
●障害児通所支援事業所マリーナ	047-304-8815	
●相談支援事業所 ふあり	047-304-8860	tomo-huali2@patomo.jp
●日中一時支援事業所 マリーナテラス	047-304-8815	
●キッチンカフェ ほっぶ	047-304-8820	
●ハレレア 共同生活援助 (グループホーム)	047-304-8808	
●浦安市基幹相談支援センター (相談窓口)	047-304-8822	tomo-soudan3@patomo.jp
●浦安市障がい者等一時ケアセンター	047-350-8771	
●訪問看護ステーションとも	047-304-8808	
●パーソナル・アシスタンスとも 福祉用具貸与販売事業所	070-5561-8808	



ボランティア随時募集

- ◆療育に関わるボランティア
イルカスイミングクラブ、生活塾、造形教室、音楽療法、ムーブメント療育、卓球教室のサポート
- ◆フリマ・イベントでのお手伝い、ケアルームのおもちゃ消毒など

編集人：社会福祉法人 パーソナル・アシスタンスとも

〒279-0022 千葉県浦安市今川 1-14-52

<編集後記>

とも通信の2023年はアート展の作品掲載、向井先生の連載開始、利用者さんインタビューなど新しい企画に挑戦した年でした。2024年はどんな一年になるのでしょうか？ 良い年となりますように。【T】

FAX 番号 047-304-8821

ホームページ www.patomo.jp ▶